



オンネット統合業務シリーズ

見積業務をネットワーク上で、原価管理、承認、終了、受注接続の一元管理を実現するシステム。

オンネット 見積



見積共有システム「オンネット見積」

■見積システムは基幹システム

見積時点では、取引が開始されていないという理由からか、「エクセルで作成」が一般的です。その場合、得意先、商品情報は、販売システムと無関係に、コード類が自由になりがちです。また、作成した見積は、個人のPC管理になってしまいます。「オンネット見積」は、基幹業務の一部として、高機能に販売システムに組み込まれていますので、会社全体の見積作業として管理されます。

■取引開始前の得意先、商品管理

見積が難しいのは、「マスタ登録されていない得意先予定者」「マスタ登録されていない商品」を考慮する必要がある点です。「オンネット見積」では既存取引先、商品以外の場合は、自由入力を許可し、受注接続後にマスタ登録をする仕組みとしています。取引実績のある得意先は、マスタ連動します。

■見積時の原価管理

特に工事請負などでは、見積時に前提原価を積算する必要があります。「オンネット見積」では、見積明細（一行）に対し、複数の予定原価（発注予定先と内訳）が登録可能で、見積承認の根拠となります。発注先、購入品もマスタと連動していますので「無理な受注」を防げます。

■承認機能

承認作業を明確化すると、期待利益による上司判断が明確化されます。見積をだれが行い、だれが期待利益を考え、だれが受注承認をしたかが明確になります。

また、承認されていない見積書は、「未承認スタンプ」が表示されますので、取引先への未承認提出を防止できます。

■履歴管理、終了管理

見積は、内容変更を何回も求められます。「オンネット見積」では、承認後の履歴情報を蓄積していますので、矛盾の無い商談が行えます。幾つもの商談を並行して行っても、混乱なく履歴参照ができるので、安心です。

終了管理とは「失注」「打ち切り」「受注」の結果管理です。これらを管理することで、今後の業務改善に繋がられます。

■ネットワークでの一元管理

「オンネット見積」はインターネット接続環境があれば、どこでも利用できます。もちろんクラウド利用も可能です。

複数の営業がいる場合、見積をネットワーク共有にすると作業が格段に可視化されます。①見積は社外で作成し、②上司は離れた場所で承認ができるのです。③そして情報共有により、担当者不在でも業務遂行が可能になります。

また、「オンネット見積」は、情報はサーバに蓄積されていますから、PCの紛失対策も万全です。

■見積書内の自由記述の実現

見積書は、請求書などとは異なり、明細行に自由にメモを記述する必要性を生じます。「オンネット見積」では、明細行に「メモ属性」を付けることにより、自由に文言が記載できます。受注接続の際は、「メモ属性」の有無判断をします。

■見積書、発注書（請書）、請求書出力

事業が小規模である場合、見積書出力を行うと、発注書（相手先用）、請求書までが作成可能となり業務が完結します。これは、「販売管理システムの導入までは必要ない」という事を意味します。「オンネット見積」では、「見積書」「発注書（請書付き）」「請求書」の出力が可能です。ですので「オンネット見積」だけで、簡易販売システムとして機能します。

■拡張性（オプション）

見積作業は、受注作業と同じくらい重要な業務です。ですから販売管理システムの一部として機能する必要があります。そのため、業種、業態、事業の考え方により、システム機能も変化、拡張させる必要があります。「オンネット見積」は、その変化に柔軟にお応えできる仕組みになっています。



見積書のヘッダー部画面です。承認、終了処理を行います。

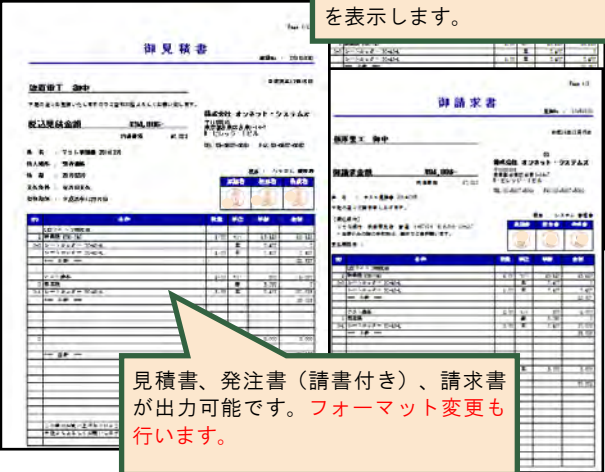


見積書の明細部画面です。明細行を入力します。コメント行の自由追加、明細に対する原価登録が可能です。

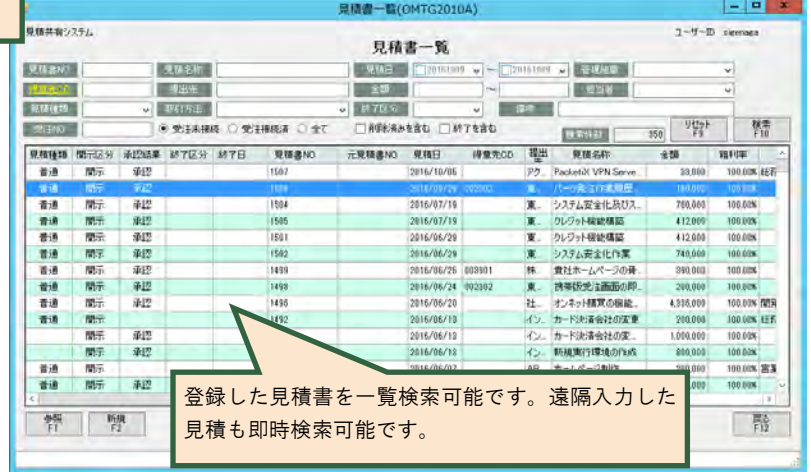
明細行に対応して、原価を登録します。



未承認の時には、未承認スタンプを表示します。



見積書、発注書（請書付き）、請求書が出力可能です。フォーマット変更も行います。



登録した見積書を一覧検索可能です。遠隔入力した見積も即時検索可能です。

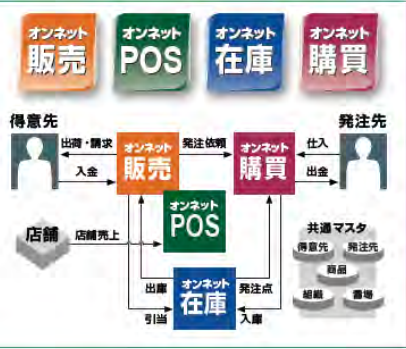
販売・在庫・購買業務を高機能で一元管理できる オンネット 統合業務シリーズ

オンネット統合業務シリーズは、オンネット販売・オンネット在庫・オンネット購買・オンネットPOSで構成されています。各システム間の連携、業務手順を反映したデータベースなど、高機能によって業務効率を向上するシリーズです。

すぐれた拡張性を持つオンネット統合業務シリーズ

- 画面表示部・業務機能部・データベース部にプログラムを分離構成。画面表示部の設計により、タブレットやスマートフォン表示にも対応できます。
- 業務機能部・データベース部と画面表示部はSOAP/REST、HTMLで接続。業務機能部・データベース部は自社や関連会社のサーバ、またはクラウドに設置できます。
- データベース間連携により、別システムや他社ソフトウェアとの接続も可能です。
- シリーズすべてがクラウド運用に対応しています。

推奨 OS : Windows® 7 Professional, Windows Server® 2012 Standard 以上



「オンネット統合業務シリーズ」の設計思想 長期間使い続けられる、柔軟性の高い基幹業務システムを目指して。

—大型コンピュータからリーズナブルなPC・サーバ運用へ—
独自の事業ノウハウで改善を継続する企業活動を実現するために、業務システムには「ノウハウを反映した機能を長期間使い続けられる」という考え方が重要です。タブレット、スマートフォン、シンクライアントなど、ハードウェアが多様化しても十分に使い続けられる業務システムを提供するために、オンネット統合業務シリーズは次の点を前提に設計しています。

- ・広く普及し標準化している通信技術、データベース技術を利用する。
- ・利用形態に応じてPC、サーバ、クラウドに設置できる。
- ・画面表示部の更改で、さまざまなハードウェアに表示できる。
- ・各社の事業ノウハウを取り入れたカスタマイズに対応する。

©Microsoft, Windows, Windows Azure, Microsoft Exchange, Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Amazon Web Servicesは米国その他の国におけるAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。©ONNETは株式会社オンネット・システムの登録商標です。その他、文中の社名、商品名などは一概に各社の商標または登録商標です。仕様が予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ
株式会社オンネット・システムズ
<http://www.onnet.ne.jp/>

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-7 B・ピレッジ1ビル6F
TEL : 03-5807-5081 FAX : 03-5807-5082 メール : onnet@onnet.ne.jp